



【地震体験車を利用しませんか?】

自主防災組織や自治会などで訓練を実施する際に、千葉県で保有している地震体験車を利用することができま

す。地震を体感し防災意識の向上を図るためにはとても良い機会となります。

利用するには日程調整などが必要ですので、消防防災係までご相談ください。(日程によってはご希望に添えない場合がありますので予めご了承ください。)



③ 災害用伝言ダイヤル  
災害用伝言板

○災害用伝言ダイヤル「171」

災害が発生した時は電話がかかりにくくなり家族間等で連絡が取りづらくなるため、安否を伝える声の伝言板として災害用伝言ダイヤルが用意されます。使用方法については、「171」をダイヤルし音声案内に従って操作してください。

○災害用伝言板

携帯電話各社では、災害が発生するとインターネットサービスのトップページに災害伝言板が表示され、安否情報が確認できます。

また、2010年3月より携帯電話・

PHS事業者5社（docomo、au、ソフトバンク、ウィルコム、イーモバイル）では、安否情報を知りたいけれど相手の加入する事業者を知らない場合でも、迅速な検索・確認が可能となりました。詳しい使用方法については、各社ホームページをご覧ください。

④ 非常用品の準備・点検

緊急避難のときに持って逃げる「非常持出品」と、災害復旧までの間の生活をささえる「非常備蓄品」の準備や点検をしましょう。

○非常持出品（男性15kg、女性10kgまでを目安にしてください）

・水、非常食、携帯ラジオ、懐中電灯、予備の電池、救急医療品、ライター、衣類、雨具、貴重品など

○非常備蓄品

・非常食（乾パン、米、缶詰、菓子類）、3日分の飲料水（目安：1人1日3ℓ）、ガスコンロ、割り箸、コップなど

※災害用伝言ダイヤルや災害用伝言板は毎月1日や防災週間などに体験することができま。詳細については各社へお問い合わせください。(サービスによって体験できる日が違うのでご注意ください。)

